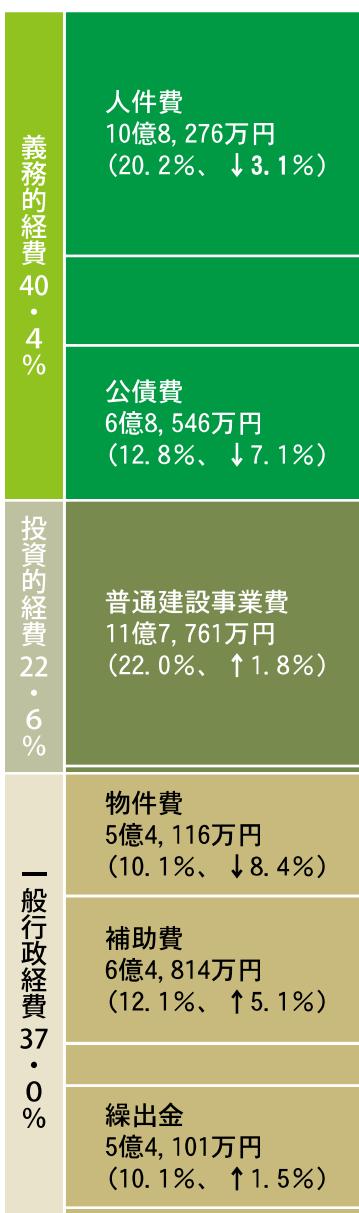
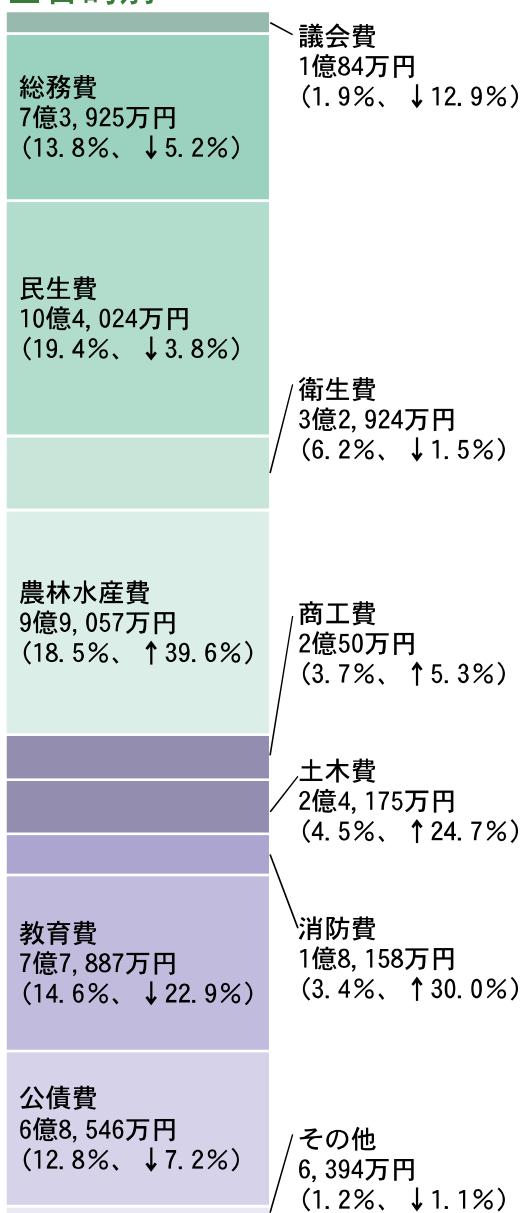


1 普通会計 歳入

歳出 53億5,224万円

前年度比 191万円(0.04%)減

■目的別



職員の給与や議員、非常勤職員への報酬などの経費。

扶助費 3億9,631万円
(7.4%、↑5.5%)

児童福祉法等の法令に基づく被扶助者への支給や、町独自の各種扶助のための経費。

町債の元利償還金及び一時借入金利子を支払うための経費。

道路、橋りょう、学校などの公共施設、公用施設の建設事業に必要とされる投資的な経費。

災害復旧事業費 3,238万円
(0.6%)

台風、降雨などの異常天候等の災害により被災した施設を復旧するための経費。

賃金、旅費、需用費など。

講師謝金など報償費、保険料などの役務費、負担金、補助金など。

積立金 1億8,724万円
(3.5%、↓2.3%)

財政運営を計画的にするため、または財源の余裕がある場合に年度間の財源変動に備えて積み立てる経費。

一般会計、特別会計及び基金の間で、相互に資金運用するための経費。

その他 6,017万円
(1.1%、↑80.7%)

維持補修費、投資及び出資金。

■歳出

5万円で、前年度に比べ0.6%、3117万円増加しました。主に国庫支出金（基地周辺障害防止対策事業費補助金等）が1億6978万円、繰越金が7583万円、地方交付税が6060万円と減少しましたものの、地方債（田皆認定）ことも園園舎新築事業費債、えらぶ特産品加工場整備事業費債、消防車両整備事業費債等）が2億2070万円、県支出金（えらぶ特産品加工場整備事業費補助金、かごしま費用債、消防車両整備事業費債等）が7867万円の増となっていますが、これは、23年度の繰越金が22年度の地域活性化交付金等の影響により一時的に増えたことに伴う減少です。また、歳入のうち自主財源は、2345万円の減となっていますが、これは、23年度の繰越金が22年度の地域活性化交付金等の影響により一時的に増えたことに伴う減少です。横ばいです。前年度に比べ0.4%、4万円で、前年度に比べ0.04%、191万円の減少とほぞんですが、主な特徴となるていていま园園舎新築事業による民生費の減、田皆認定などに伴う24年度に完成したことなどに伴う23年度に知名小学校校舎が主な特徴となるていていま园園舎新築事業による民生費の減、田皆認定などに伴う24年度に完成したことなどに伴う23年度に知名小学校校舎が

5万円で、前年度に比べ0.6%、3117万円増加しました。主に国庫支出金（基地周辺障害防止対策事業費補助金等）が1億6978万円、繰越金が7583万円、地方交付税が6060万円と減少しましたものの、地方債（田皆認定）ことも園園舎新築事業費債、えらぶ特産品加工場整備事業費債、消防車両整備事業費債等）が2億2070万円、県支出金（えらぶ特産品加工場整備事業費補助金、かごしま費用債、消防車両整備事業費債等）が7867万円の増となっていますが、これは、23年度の繰越金が22年度の地域活性化交付金等の影響により一時的に増えたことに伴う減少です。また、歳入のうち自主財源は、2345万円の減くなっていますが、これは、23年度の繰越金が22年度の地域活性化交付金等の影響により一時的に増えたことに伴う減少です。横ばいです。前年度に比べ0.4%、4万円で、前年度に比べ0.04%、191万円の減少とほぞんですが、主な特徴となるていていま园園舎新築事業による民生費の減、田皆認定などに伴う24年度に完成したことなどに伴う23年度に知名小学校校舎が主な特徴となるていていま园園舎新築事業による民生費の減、田皆認定などに伴う24年度に完成したことなどに伴う23年度に知名小学校校舎が